

Google Jamboardの付箋機能で年表を作成



地震による被害を動画で学ぶ

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
個に応じた学習
調査活動
思考を深める学習
表現・制作

協働学習
発表や話し合い
協働での意見整理
協働制作

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター
MacBook

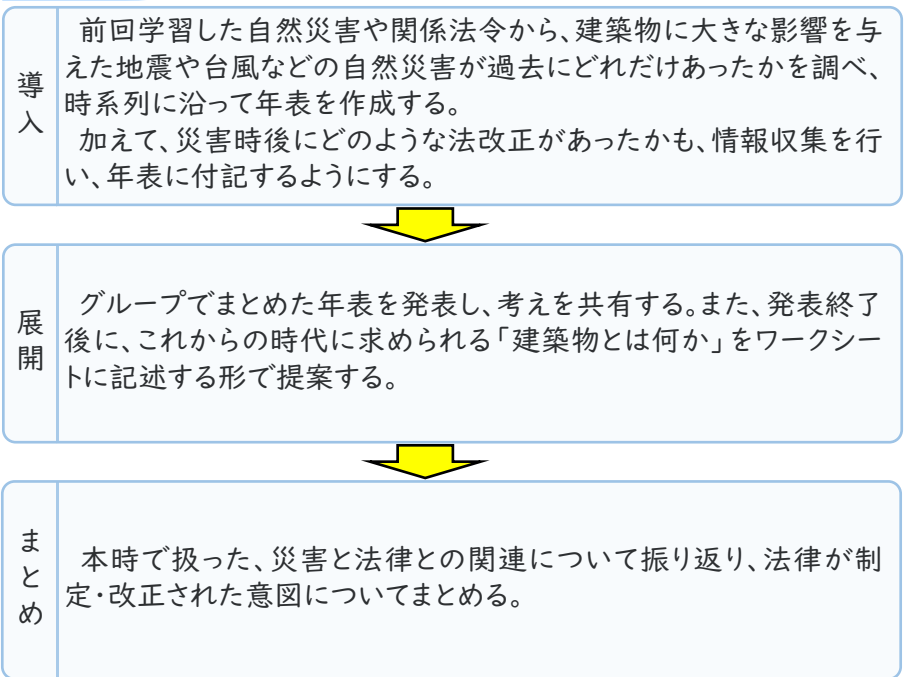
活用したアプリ等

Google Jamboard
YouTube
PowerPoint
インターネット機能

学習のねらい

建築物と自然災害を関連づけて、建築物にどのような被害を与えるのかを理解する。また、過去に発生した災害と制定・改正された法律の関連性についてまとめ、法律の目的や重要性について理解できる基礎作りを行う。

学習の流れ



ココでICTを活用!

Chromebookを用いて、過去に日本で発生した”建築物の大きな影響を与えた地震と台風”の被害と建築物に関連する法律の制定・改正について小グループを作り、調べ学習として行う。その際グループの中では地震・台風について調べる者と、建築物に関連した法律について調べる者に分かれる。情報収集を行った後、個人でまとめた内容をグループで共有し、Google Jamboardの付箋を貼り付けながら年表としてまとめ、クラス内で発表と共有を行う。

後日、実際の地震による被害の動画をYouTubeを使って生徒に提示することで、災害時にどのような力が作用し、崩壊したのかを解説する。また、当時の法律での基準や改正後の内容について解説する。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

生徒たちが主体的に調査活動を行う場面を設けたことで、生徒がもともと知っていた地震だけでなく、初めて知る地震についてもとても興味をもって調べていた。班でのグループワークでは、生徒が1人ひとりが調べた災害や法律を、Jamboardなどを使って協力してまとめ、クラス内で発表をした。生徒が作成したJamboardを教材とし、それらを利用して授業を行ったことにより生徒と教員が一体となって授業を行えたと考えられる。YouTubeの動画では、生徒に実際の被害の動画を見せることにより、建築物がどのように被害を受けていくのかを視覚的に学ぶことができたと考えられる。

今後は、より関心を持って取り組ませるためにも、自らが調べたことを個人でJamboardにまとめ、発表できるようにすることで、地震や台風以外の災害とも結びつけて考えさせることも検討していきたい。